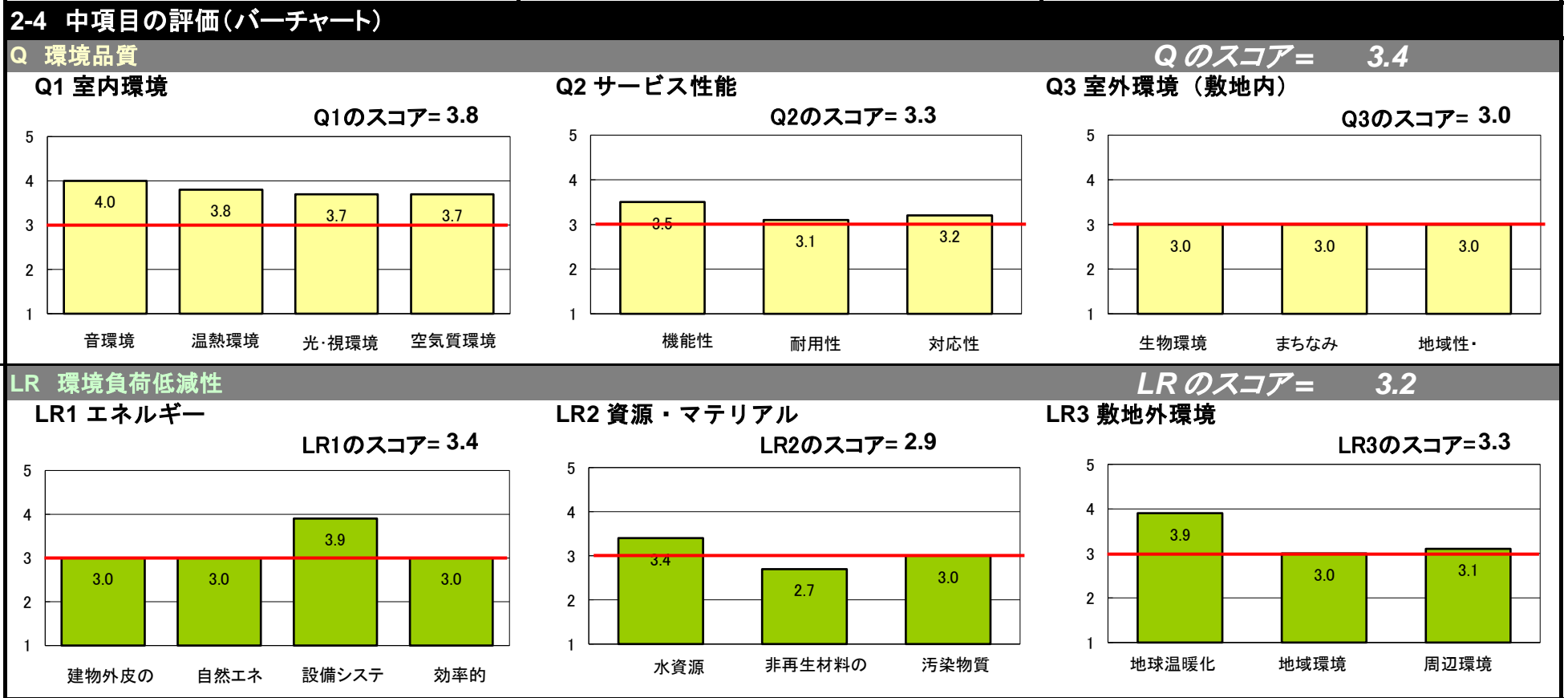
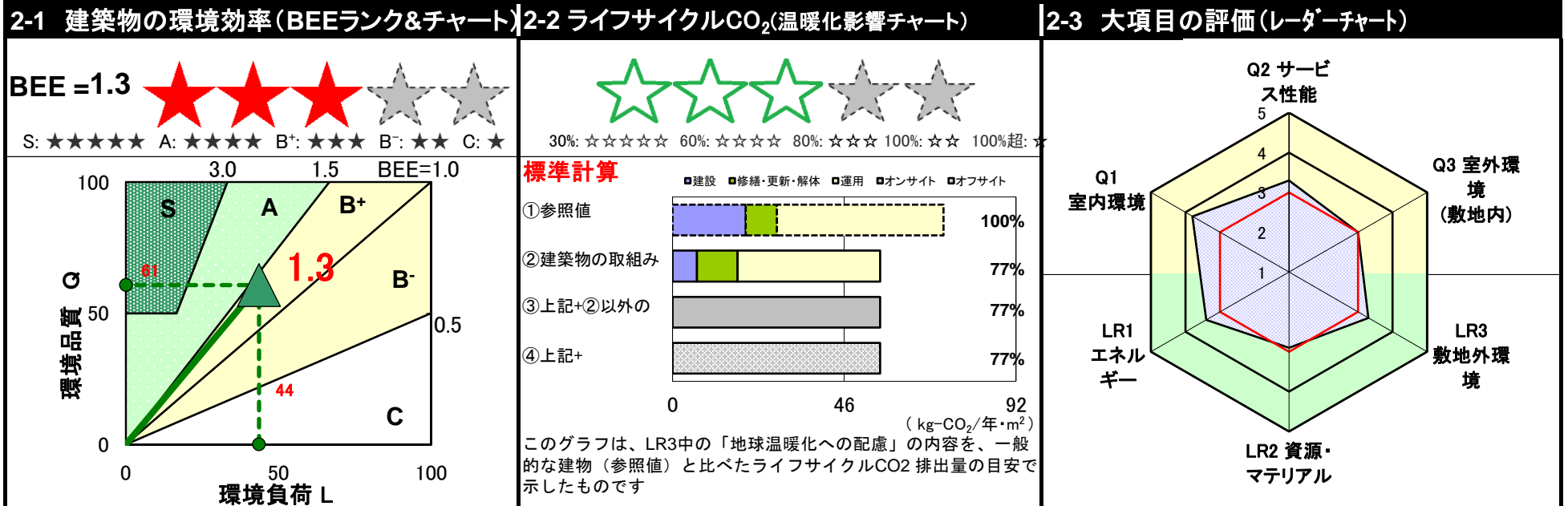
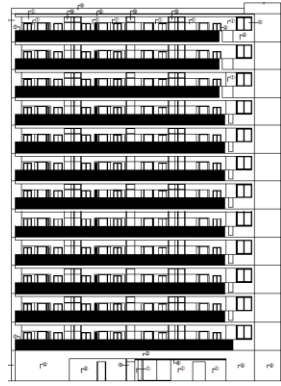


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ガーラレジデンス相模大塚新築工事	階数	地上13F
建設地	神奈川県大和市桜森二丁目143番4,11,23	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	130 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年9月 予定	評価の実施日	2025年4月7日
敷地面積	704 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社オームラ建築設計
建築面積	326 m <sup>2</sup>	確認日	2025年4月7日
延床面積	3,008 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社オームラ建築設計



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 相鉄本線相模大塚駅から近い商業地域に、 共同住宅を13F・RC造で計画した。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 遮音等級T-4サッシを使用している。 カーテンと庇で昼光制御している。 建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 光・LAN機器の採用にてGbitクラスの「ポートバンド」が利用可能。 維持管理しやすい内装・外装を使用している。 劣化対策等級3相当としている。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 特になし。
<b>LR1 エネルギー</b> 特になし。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマと節水型便器を使用している。 壁・天井のLGS採用にて分別容易である。	<b>LR3 敷地外環境</b> 広告物照明は、行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される